



## 国鉄大隅線大隅高須駅

# 昔

昭和62年頃



# 今



昭和62年3月14日に国鉄大隅線が廃止されるまで、活用された大隅高須駅。高須から大隅線を利用する人たちを長い間見守りました。その後、平成13年には駅舎の跡地に高須町民会館が完成し、高須町民の憩いの場として活用されています。また、周辺には線路跡やトンネルなどが残っており、今もなお大隅線の名残がうかがえます。



王子遺跡資料館には様々な出土品や建造物が展示されている。

現在まで市内では数多くの遺跡発掘調査が進められてきました。現在残されている調査概要の中で最も古い記録は、昭和59年の上祇川遺跡群の発掘です。上祇川町にある上桶原遺跡、水ノ谷遺跡、丸岡遺跡から縄文時代(1万年以上前)や弥生時代(約2千年前)の遺跡が見つかりました。

時は、邪馬台国ではないかという人も現れるなど話題となり、専門家や有識者を中心に、バイパス道路建設の反対や遺跡の保存運動といった大きな騒動にまで発展しました。王子遺跡の貴重な竪穴住居は、そのままの形で移設され、現在は北田町にある王子遺跡資料館に展示されています。

また、白崎町の高付遺跡と串良町上小原の吉ヶ崎遺跡からは全国的に貴重な土器を発見。「高付式土器」や「吉ヶ崎式土器」と呼ばれる土器の歴史を見るうえで基準となりました。

近年は、県道の建設工事に伴い、吾平町麓の久保田牧遺跡や立塚遺跡などで古墳時代(約1,500年前)の遺跡の発掘作業が進められています。

約550か所もある市内の遺跡は、後世に生きる私たちに当時の生活の様子を伝えます。

## 遺跡発掘調査で様々な発見

## カノヤタイムトラベル

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!